

「白神山地・ジオパークフォーラム」を開催しました

2月2日(日)に「白神山地・ジオパークフォーラム」(八峰白神ジオパーク推進協議会主催)を開催しました。会場のファガスには約120名のご来場をいただきました。

今回は八峰白神ジオパークの中心的存在でもある「白神山地」に対する理解を深めることを目的に行いました。はじめに八木浩司さん(山形大教授)による講演で、白神山地のブナ林の成り立ちやその科学的な価値などについて学びました。

続いて、中川和之さん(日本ジオパーク委員会委員)をコーディネーターにパネルディスカッションを行いました。白神山地の地形・地質がもたらす白神山地のふもと特有の恵みについて八木浩司さん、林信太郎さん(秋田大教授)が説明、そして実際にその恵みを活かした活動をされている米森萬壽美さん(秋田やまもと農業協同組合・代表理事組合長)、山本友文さん(山本合名会社・代表社員)からは白神山系の水を利用した農業や酒造りの実例と今後の可能性について発言をいただきました。

大地の保護・活用を目指す地域がジオパークです。今後も科学者と地域の人々が手を取り合い、地域の持続可能な発展を目指す取り組みを進めていきたいと思ひます。



できるかな、まっ黒くろすけ



火山爆発実験

「まっ黒くろすけ」コーナー大人気！
まるごと体験・秋田のジオパーク

去る1月25日、秋田県主催の標記イベントが秋田駅に隣接するアルヴェにある「きらめき広場」で開催されました。ご存知の通り秋田県内には八峰白神ジオパーク、男鹿半島・大潟ジオパーク、ゆざわジオパークの3地域があります。これら3地域は先ごろ秋田県ジオパーク連絡協議会を設立しましたが、この度のイベントは最初の事業となりました。

八峰白神ジオパークの紹介には秋田大学のご協力も得て、「火山噴火実験「まっ黒くろすけ」ジオポイント絵画」大地の恵み・特産品販売」などの各コーナーを設け来客者に対応しました。

「まっ黒くろすけ」のコーナーも人気がありました。この立案にあたってヒントになったのは中浜海岸に広がるカラミ(鉱滓)でした。初めて訪れる人たちはこの黒い砂を見ると決まって「こんなに砂鉄がある!」と言います。そこでガイドは磁石を取り出してお客さんに渡し、砂の表面を撫でてもらいます。「アレ?付かない!」の声を聞くとガイドは準備してあった砂鉄を出し、再度同じ作業をしてもらいます。今度は磁石に砂鉄がいっぱい付きます。その様子がアニメ「となりのトトロ」にでてくる「まっ黒くろすけ」によく似ているのです。「まるごと体験」の企画を相談していたとき、前述の体験談が話題になりました。そのようにしてこのコーナーが誕生したのです。

このコーナーは子どもたちで大賑わいとなりました。ふと見ると男の子2人を連れただおじいさんがやっ

てきます。担当者の説明にしたがってまずカラミでできている砂に向かいます。磁石のほうにカラミが付かないので弟はすぐに砂鉄の入った砂に行き試しています。ところが、兄はカラミを磁石に付けようとまだがんばっています。最初は砂の表面を撫でていました。が、さっぱり付かないので今度は砂の中に磁石を埋めて様子を見ています。次に磁石の上に砂を山盛りにし、手で上からぎゅうぎゅう押ししています。

少し離れた場所に立って見ていたおじいさんに私は近づき話しかけました。「あのお子さんは科学者になりそうですね」おじいさんはびっくりした表情で「アハハハ……ハハ……ハ……?」と笑いました。しかし、笑いが止まった頃は真剣なまなざしでお孫さんを見つめていました。



八峰白神ジオパーク推進協議会
会長 工藤 英美
〒018-2612
秋田県山本郡八峰町八森字ノケソリ116
TEL 0185-78-2427
旧岩館小学校内



「砂あらしとたたかった人々」

砂あらしで出来たポンポコ山周辺の砂丘を観察します。

講師：工藤 英美 (八峰白神ジオパーク推進協議会会長)

- 開催日 2月16日(日) 午前10:00~正午
- 場所 ポンポコ山公園パークセンター集合
- 参加費 1人 300円
- 定員 15人程度(小学校3年生以下は保護者同伴)
- 締切 2月14日(金)
- その他 野外にも出ますので暖かい服装をお願いします。
- 問合せ申込先(当日連絡先)

ぶなっこランド ☎77-3086

白神ネイチャー協会(白神ふれあい館) ☎70-4211

八峰白神ジオパーク
推進協議会
共催イベント